

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「正しい行動」を学ぼう
ねらい (学習目標)	1. 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る 2. 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える 3. 安全な場所への移動のルールを学ぶ
対象学年	小学生全般
教科・イベント等	緊急地震速報による対応・避難訓練 (事前学習)
学習形態	全員 (授業) → 個人 (ワークシート) → 全員 (答え合わせ) → 全員 (授業) 計 45 分
準備	ワークシート (A～Cのどれか)、授業補助資料 1 (ワークシートの回答)、授業補助資料 2 (緊急地震速報リーフレット)、授業補助資料 3 (退避行動イラスト)、緊急地震速報訓練用音源 (津波に備える) ※熊谷地方気象台ホームページ (http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/index2.html)

■学習の流れ

構成	学習活動の内容	指導上の留意点 (主な発問と子どもへの援助)
1 導入 (5分)	1 地震の怖さを知る 2 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る	 「今日は、 <u>地震が起きたときに何をすれば、自分の身を守ることができるのか</u> について考えてみましょう」 ※過去に発生した地震 (東日本大震災、阪神・淡路大震災等) について、写真等を見せながら思い出す  「まず、みなさんは <u>緊急地震速報</u> (きんきゅう・じしん・そくほう) という言葉を知っていますか。テレビやラジオから『 <u>ティロン♪ティロン♪</u> 』という音が鳴って『 <u>緊急地震速報です。強い揺れに警戒して下さい</u> 』という放送が流れることがあります。また、携帯電話でも緊急地震速報を聞くことがあります」  「 <u>緊急地震速報は、地震による強い揺れがくる前に『気をつけてください!』と知らせてくれるチャイム音のことです。緊急地震速報を聞いてから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒しかありません</u> 」 ※チャイム音を携帯電話やラジカセ等で聞かせ確認するとよい ※二重下線の意味をしっかりとさえる
2 展開1 (36分)	3 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える (1) 発表しあって、より良い方法を確認する	 「では、学校で緊急地震速報を聞いたり、地震の強い揺れを感じた時、 <u>どうすれば自分の身を守ることができるか</u> 。これから少し時間をとります。ワークシートの 1 番に書いてあるそれぞれの場所で、みなさんがどのように自分の身を守ればよいのか、自分の意見を書いて下さい」 □ ワークシート 1 への記入時間を 10 分程度とる ※緊急地震速報受信端末が未設置の学校では、チャイム音は訓練のみで放送することを説明しておく  「それでは自分の考えを発表してもらいましょう。まず、教室ではどのようにすればよいでしょうか」 ※1 つずつ発表させ、話しあって確認する ※グループに分けて話し合い、グループで考えたことを 1 つずつ発表しながら確認してもよい ※発表した意見を黒板に整理しながら確認してもよい

	(2) 地震による「物の動き方」をまとめる	※教師サイドで初めから答えらしきものを書いてしまうのは NG!  「まとめると、地震が起きた時は、姿勢を低くし頭や体を守り、揺れが収まるまでじっとすることが大切です」 ※「シェイクアウト」という防災訓練の考え方です    まず低く、 頭を守り、 動かない！  「今日は学校にいる時の身の守り方を学習しました。地震はいつどこで起こるかわかりません。<u>地震から自分の身を守るためには、それぞれの場所で注意しなければならないことがあります。</u>どのようなことに注意すればよいのか、ワークシートの2番に書いて下さい」 ☐ ワークシート2への記入時間を2分程度とる  「それでは確認します。<u>1つめは、上からものが落ちてこない場所へ移動する、2つめは、横からものが倒れてこない場所へ移動する、3つめは、ものが動いてこない場所へ移動することが大切です</u>」  「緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時には、どこにいても<u>慌てずに自分で考えて行動して下さい</u>」 ※二重下線の意味をしっかりと教える
3 展開2 (3分)	4 安全な場所への移動のルールを学ぶ	 「揺れがおさまったら、もっと安全な場所へ移動します。合言葉は、『お・か・し・も・ち』でしたね。先生が近くにいなくても、放送を良く聞いて、ルールを守って移動しましょう」 ※それぞれの避難行動を1つずつ確認してもよい ※おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない
4 まとめ (1分)	5 緊急地震速報による対応・避難訓練について説明する	 「今日は、みなさんが緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時の対応行動を学習しました。避難訓練では緊急地震速報を放送します。緊急地震速報を聞いたら、今日学習したことを思い出し、正しく身を守り、正しい避難をして下さい」 ※二重下線の意味をしっかりと教える ※本学習から、子どもたちが適切な行動をとることができたか、事後のアンケートなどによって考察することが可能

※展開部分の指導が効果的です

■評価ポイント

1 緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはいいかを理解しているか
2 事前学習で学んだ適切な行動が、実践訓練において実施されているか

■特記事項

1 6年生は「静かに聞くことができなかった」と自己評価する傾向→6年生に訓練の意味や、バカにしたり恥ずかしって訓練に望まないように注意する必要性あり
2 低学年は「何をしたらよいか自分で考えることができなかった」と自己評価する傾向→1、2年生には具体的な行について考えさせたり丁寧に教える工夫がより必要

■関連学習

1 本事前学習を初めとして「事前学習→実践訓練→事後学習」という学習プログラムで、緊急地震速報を用いた対応行動・避難行動を学び・習うことができる
2 小学校高学年は、緊急地震速報のしくみなどの「理科学習」につなげることができる

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「正しい行動」を学ぼう
ねらい (学習目標)	1. 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る 2. 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える 3. 安全な場所への移動のルールを学ぶ
対象学年	小学生全般
教科・イベント等	緊急地震速報による対応・避難訓練 (事前学習)
学習形態	全員 (授業) → 個人 (ワークシート) → 全員 (答え合わせ) → 全員 (授業) 計 20 分
準備	ワークシート (B・Cのどちらか)、授業補助資料 1 (ワークシートの回答)、授業補助資料 2 (緊急地震速報リーフレット)、授業補助資料 3 (退避行動イラスト)、緊急地震速報訓練用音源 (津波に備える) ※熊谷地方気象台ホームページ (http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/index2.html)

■学習の流れ

構成	学習活動の内容	指導上の留意点 (主な発問と子どもへの援助)
1 導入 (3分)	1 地震の怖さを知る 2 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る	「今日は、<u>地震が起きたときに何をすれば、自分の身を守ることができるのか</u>について考えてみましょう」 ※過去に発生した地震 (東日本大震災、阪神・淡路大震災等) について、写真等を見せながら思い出す 「まず、みなさんは<u>緊急地震速報</u> (きんきゅう・じしん・そくほう) という言葉を知っていますか。テレビやラジオから『<u>ティロン♪ティロン♪</u>』という音が鳴って『<u>緊急地震速報です。強い揺れに警戒して下さい</u>』という放送が流れることがあります。また、携帯電話でも緊急地震速報を聞くことがあります」 「<u>緊急地震速報は、地震による強い揺れがくる前に『気をつけてください!』と知らせてくれるチャイム音のことです。緊急地震速報を聞いてから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒しかありません</u>」 ※チャイム音を携帯電話やラジカセ等で聞かせ確認するとよい ※二重下線の意味をしっかりとさえる
2 展開1 (15分)	3 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を考える (1) 発表しあって、より良い方法を確認する	「では、学校で緊急地震速報を聞いたり、地震の強い揺れを感じた時、<u>どうすれば自分の身を守ることができるか</u>。これから少し時間をとります。ワークシートの 1 番に書いてあるそれぞれの場所で、みなさんがどのように自分の身を守ればよいのか、自分の意見を書いて下さい」 □ ワークシート①への記入時間を 5 分程度とる ※緊急地震速報受信端末が未設置の学校では、チャイム音は訓練のみで放送することを説明しておく 「それでは自分の考えを発表してもらいましょう。まず、教室ではどのようにすればよいのでしょうか」 ※教室での行動確認が基本ですが、指導を重ねながらいろいろな場面での行動の仕方について発表させ確認するとよい ※発表・確認できなかったものについては、教師が回答を伝え確認するとよい

	(2) 地震による「物の動き方」をまとめる	※教師サイドで初めから答えらしきものを書いてしまうのは NG!  「まとめると、地震が起きた時は、姿勢を低くし頭や体を守り、揺れが収まるまでじっとすることが大切です」 ※「シェイクアウト」という防災訓練の考え方です    まず低く、 頭を守り、 動かない！  「今日は学校にいる時の身の守り方を学習しました。地震はいつどこで起こるかわかりません。<u>地震から自分の身を守るためには、それぞれの場所で注意しなければならないことがあります。</u>どのようなことに注意すればいいのか、ワークシートの 2 番に書いて下さい」 ☐ ワークシート 2 への記入時間を 2 分程度とる  「それでは確認します。<u>1 つめは、上からものが落ちてこない場所へ移動する、2 つめは、横からものが倒れてこない場所へ移動する、3 つめは、ものが動いてこない場所へ移動することが大切です</u>」  「緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時には、どこにいても<u>慌てずに自分で考えて行動して下さい</u>」 ※二重下線の意味をしっかりと教える
3 展開2 (1分)	4 安全な場所への移動のルールを学ぶ	 「揺れがおさまったら、もっと安全な場所へ移動します。合言葉は、『お・か・し・も・ち』でしたね。先生が近くにいなくても、放送を良く聞いて、ルールを守って移動しましょう」 ※おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない
4 まとめ (1分)	5 緊急地震速報による対応・避難訓練について説明する	 「今日は、みなさんが緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時の対応行動を学習しました。避難訓練では緊急地震速報を放送します。緊急地震速報を聞いたら、今日学習したことを思い出し、正しく身を守り、正しい避難をして下さい」 ※二重下線の意味をしっかりと教える ※本学習から、子どもたちが適切な行動をとることができたか、事後のアンケートなどによって考察することが可能

※展開部分の指導が効果的です

■評価ポイント

1 緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはいけないかを理解しているか
2 事前学習で学んだ適切な行動が、実践訓練において実施されているか

■関連学習

1 本事前学習を初めとして「事前学習→実践訓練→事後学習」という学習プログラムで、緊急地震速報を用いた対応行動・避難行動を学び・習うことができる
2 小学校高学年は、緊急地震速報のしくみなどの「理科学習」につなげることができる

ワークシートは同じ内容ですが、児童の記入量別に3種類あります。授業時間やクラス・指導の状況によって適当なものを使用してください。

タイプA 記入量多い

（高学年45分授業など）

タイプB 記入量少ない

（高学年20分、低学年45分授業など）

タイプC 記入なし

（低学年20分授業など）

タイプA

1. どうすれば自分の身を守ることができますか。考えてみましょう。

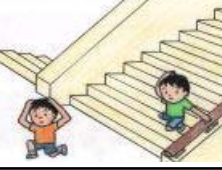
2. 自分^{じぶん}の身^みを守^{まも}るためには、どのようなこと^{こと}に注^{ちゅう}意^いすればよいですか。



地震から自分の身を守ろう！

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前 ()

1. どうすれば自分の身を守ることができますか。考えてみましょう。

きょうしつ 教室		<u>机の下にもぐる。机が動かないように机の足をしっかりとにぎる。</u> ※机が移動しないような行動を併せてとることを教える。 ※自分の机ではなく、近くの机の下にもぐる。机がない場合は頭を守ることを教える。 ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
ろうか 廊下		<u>窓ガラスから離れる。頭を守ってしゃがむ。</u> ※強い揺れでは、近くの教室へ移動することができないことを教える。
かいだん 階段		<u>手すりにつかまる。頭を守ってしゃがむ。</u> ※強い揺れでは、踊り場や近くの教室へ移動することができないことを教える。
こうてい 校庭		<u>ものが倒れてこないところ(校庭の中央など)に逃げる。</u> <u>校舎や遊具から離れ、頭を守ってしゃがむ。</u> ※強い揺れでは、校庭の中央まで移動できないことを教える。
としょしつ 図書室		<u>本棚から離れる。頭を守ってしゃがむ。</u> ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
トイレ		<u>ドアを開ける。頭を守ってしゃがむ。</u> ※強い揺れで、ドアが開かなくなって閉じ込められることを教える。

2. 自分の身を守るためには、どのようなことに注意すればよいですか。



上からものが「落ちてこない」場所へ移動する。



横からものが「倒れてこない」場所へ移動する。



横からものが「移動してこない」場所へ移動する。

タイプB

1. どうすれば自分の身を守ることができますか。考えてみましょう。

2. 自分^{じぶん}の身^みを守^{まも}るためには、どのようなこと^{こと}に注^{ちゅう}意^いすればよいですか。



よこ いどう ばしょ いどう
横からものが「移動してこない」場所へ移動する。

地震から自分の身を守ろう！

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前 ()

1. どうすれば自分の身を守ることができますか。考えてみましょう。

きょうしつ 教室		机の下にもぐる。机が動かないように机の足をしっかりとにぎる。 ※机が移動しないような行動を併せてとることを教える。 ※自分の机ではなく、近くの机の下にもぐる。机がない場合は頭を守ることを教える。 ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
ろうか 廊下		窓ガラスから離れる。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、近くの教室へ移動することができないことを教える。
かいだん 階段		手すりにつかまる。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、踊り場や近くの教室へ移動することができないことを教える。
こうてい 校庭		ものが倒れてこないところ(校庭の中央など)に逃げる。 校舎や遊具から離れ、頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、校庭の中央まで移動できないことを教える。
としょしつ 図書室		本棚から離れる。頭を守ってしゃがむ ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
トイレ		ドアを開ける。頭を守ってしゃがむ ※強い揺れで、ドアが開かなくなって閉じ込められることを教える。

2. 自分の身を守るためには、どのようなことに注意すればよいですか。



上からものが「落ちてこない」場所へ移動する。



横からものが「倒れてこない」場所へ移動する。



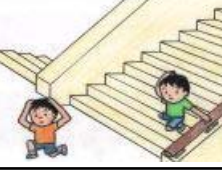
横からものが「移動してこない」場所へ移動する。

タイプC

地震から自分の身を守ろう！

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前 ()

1. 学校で緊急地震速報を聞いたらどのように身を守るか。

きょうしつ 教室		つくえ した つくる うご つくえ あし 机の下にもぐる。机が動かないように机の足をしっかりとにぎる。
ろうか 廊下		まど はな あたま まも 窓ガラスから離れる。頭を守ってしゃがむ。
かいだん 階段		て あたま まも 手すりにつかまる。頭を守ってしゃがむ。
こうてい 校庭		たお こうてい ちゅうおう に ものが倒れてこないところ(校庭の中央など)に逃げる。 こうてい ゆうぐ はな あたま まも 校舎や遊具から離れ、頭を守ってしゃがむ。
としょしつ 図書室		ほんだな はな あたま まも 本棚から離れる。頭を守ってしゃがむ
トイレ		あ あたま まも ドアを開ける。頭を守ってしゃがむ

2. 自分の身を守るために注意すべきこと。



うえ お ばしょ いどう
上からものが「落ちてこない」場所へ移動する。



よこ たお ばしょ いどう
横からものが「倒れてこない」場所へ移動する。



よこ いどう ばしょ いどう
横からものが「移動してこない」場所へ移動する。

地震から自分の身を守ろう！

ねん 年 くみ 組 なまえ 名前 ()

1. 学校で緊急地震速報を聞いたらどのように身を守るか。

きょうしつ 教室		つくえ した つくる うこ つくえ あし 机の下にもぐる。机が動かないように机の足をしっかりとにぎる。 ※机が移動しないような行動を併せてとることを教える。 ※自分の机ではなく、近くの机の下にもぐる。机がない場合は頭を守ることを教える。 ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
ろうか 廊下		まど はな あたま まも 窓ガラスから離れる。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、近くの教室へ移動することができないことを教える。
かいだん 階段		て あたま まも 手すりにつかまる。頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、踊り場や近くの教室へ移動することができないことを教える。
こうてい 校庭		たお こうてい ちゅうおう に ものが倒れてこないところ(校庭の中央など)に逃げる。 こうてい ゆうぐ はな あたま まも 校舎や遊具から離れ、頭を守ってしゃがむ。 ※強い揺れでは、校庭の中央まで移動できないことを教える。
としょしつ 図書室		ほんだな はな あたま まも 本棚から離れる。頭を守ってしゃがむ ※強い揺れにより、キャスターが付いている重たいものが動くことを教える。
トイレ		あ あたま まも ドアを開ける。頭を守ってしゃがむ ※強い揺れで、ドアが開かなくなって閉じ込められることを教える。

2. 自分の身を守るために注意すべきこと。



うえ お ばしょ いどう
上からものが「落ちてこない」場所へ移動する。



よこ たお ばしょ いどう
横からものが「倒れてこない」場所へ移動する。



よこ いどう ばしょ いどう
横からものが「移動してこない」場所へ移動する。